

# GREEN RANGER NEWS

2020年11月号

Vol.323



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局  
〒989-0231  
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102  
URL <http://www.zao.org/>  
e-mail [mail@zao.org](mailto:mail@zao.org)

## ■10月の活動報告

### 【定例会】(樹木名板設置)10月11日(日)

今日は、久々の親子行事。今年度はコロナウイルス感染拡大予防により外部からの参加は見合わせていたが、バスでの移動を注意すれば自然観察はできる、との判断で実施した。しかし、なんと雨降りに。昨年は台風上陸により、親子行事は中止となったが、今年も台風14号の接近で開催できるかどうか気をもむこととなった。幸い台風がそれてくれたので一安心。それでも、一日中小雨が降り続けた。参加者は、柴田町在住の親子で、2組のキャンセルがあったため3組の親子となった。子どもは5人(8才のアオバ君、ユウ君、5才のミナト君、ヒヨリちゃん、3才のエミちゃん)だった。雨なので、最初に動物の動画を観た。「あっ、ツキノワグマだ!」と、「クマ」ではなく「ツキノワグマ」という言葉が飛び出す。水飲み場でイノシシがごろごろしていると「イノシシが虫とってる。」飛び立った鳥を見て「カケスだ!」と、とにかく反応が早い、よく知っている。ヤマドリ長い尾や、クマがフンをしながらクワを食べている様子も喜んで観ていた。次に、枝や木の実を使ってクラフト作りに挑戦。まだ5才の子が次々に枝や木の実をつないで、素晴らしい作品を仕上げている。まるで森の芸術家! 大学生2人が参加し、子どもの作品作りを手伝ってくれて、それぞれユニークな作品を仕上げることができた。

早めに昼食を済ませ、午後はリスの森で遊ぶ。子どもたちは、元気いっぱい。草木の説明をしていて、ちょっと目を離すと、小さい子たちが道路をどんどん進んでいき、追いかけるのが大変だった。ツリーハウスは、やはり大喜び。最初登れずに降りてきたヒヨリちゃんも、みんなが登ったのを見て再度挑戦。3才の子も怖がらずに登ることができ、記録更新!となった。ターザンロープも大喜び。8才と5才の男の子たちが、完全にはまった。小雨が降る中、リスの森を散策して活動を終了。丸太小屋に戻る途中、「早く小屋に戻って、中でごろごろしたい。」という声も聞かれた。戻ると、ロフトで大騒ぎ。小さい子が落ちないか心配するほど、活発に動き回っていた。最後に、お母さん方や学生に感想を言ってもらおう。ヒヨリちゃんも自分から手を挙げて「楽しかった。ツリーハウスも登れた。」と話してくれた。午後2時に終了。雨ではあったが、楽しんでもらえたようで良かった。今回の活動は、緑の募金の支援を受けて行った。



(参加者 親子行事に10名、見学者2名、会員8名 計20名)

【森の教室】 笹枯れ地調査、紅葉観察10月25日(日)

久々に晴れ、喜びに溢れて出発。アレ、あれは蔵王の初冠雪か?!、近づくにつれて手前の山で見えなくなる。ン?、雨?、パラパラと落ちてきた、風も少し出てきた、甘かったか! 今日も天気にも少し見放されたようだ。したがって「笹枯れ地調査」は中止、晴れるまではと動物観察の動画を観ることにした。まずはリスの森、子熊2頭、親熊1頭の家族連れが行って、帰って来た、通っているのだろうか。「クマ注意!」の看板を各森の入口に掛けてはいるが、さらに「クマ注意!!!」して下さい。そしてアナグマの森、個人的にお気に入りのアナグマの動画。穴を覗きに来てコロんと寝て待ち、穴から出てきた別のアナグマとスリスリするシーンは微笑ましい。親子か兄弟か、それとも……。



早めの昼ご飯にし、晴れを待つ。陽射しが来た、巡回と観察に分かれて行動。後ろの不忘山は紅葉しているようだが、自然園内はまだと言っているよう。イノシシの鼻は頑丈なんだろう、餌を求めて観察路や砂利道さえも掘りつくしている。鳥の巣箱で生まれ、枯葉に包まれていたネズミがいない。成長して出て行ったのだろうか、それともテンに襲われてしまったのだろうか。今日も自然のいとなみを教えてもらった。参加者:5名

■11月の活動案内

[定例会]

集合時間 11月8日(日) 10時  
集合場所 作業小屋  
内 容 作業小屋・物置小屋の大掃除、理事会、観察路散策

[森の教室]

集合時間 11月22日(日) 10時  
集合場所 作業小屋  
内 容 動物生態観察まとめ、ネイチャークラフト